2017年(平成29年)
10月
報知新聞
報知新聞社
東京本社03-5479-1111
〒108-8485港区港南4-6-49
http://www.hochi.co.jp
日刊©報知新聞社
バイラーズ・コンテスト
地域記念号外

今年も盛り上ったぞ!! BAILAR'S CONTEST 2017

バイラーズコンテスト全国大会記念号
スポーツ報知

バイラーズ・コンテスト2017全国大会開催!!

大阪8月19日(土) 名古屋8月20日(日) 東京9月16日(土)17日(日) 全国大会 9月18日(月)

普通の大人たちが本気で挑むダンスコンテスト!

女子個人優勝

女子コンテスト部門優勝
↙藤江サエミ(7番)

バイラーズ・コンテストとは?

今年で9回目を迎えるBAILAR' Sコンテストは、全国のBAILA BAILA愛好家のために始まった BAILA BAILAのダンスコンテストで毎年8～9月に大阪、名古屋、東京で地区大会、9月には全国大会を東京で開催している。参加人数のべ1000名を超えるこのコンテストでは個人部門・チーム部門があり、昨年より初参加部門(個人)や、審査対象外の発表会部門(チーム)も設立され、初心者の方でも参加しやすい大人のダンスコンテストになっています!詳しくは…
http://www.bailabaila.jpをチェック!

全16種!!

副賞は全国各地の
こだわり厳選特産品

男子個人優勝

男子コンテスト部門優勝 湯本精二(17番)

チーム優勝

チームコンテスト部門優勝:aromatico

2008年よりスタートした地中海系ダンスワークアウト「BAILA BAILA」。

スタート当初から「BAILA BAILAを楽しみ、輝く人たちを表彰したい」というコンセプトで始まった「バイラーズコンテスト」も正式に大会となってから今年で9回目を数えるが、年々愛好者たちの熱気は上昇。ここ数年は東京・大阪・名古屋の3都市で地区大会を開催し男子・女子・チームの各コンテスト部門の上位者には全国大会への切符が渡される。地区大会ではそのほかに個人部門として「初めて参加部門」「男子エンジョイ部門」「女子エンジョイ部門」「シニア部門」が、またチーム部門として「発表会部門」「チームエンジョイ部門」がある。各賞にはファッション・エンタメ・エレガント・パワフルを含むいろいろな賞があり、またそのほかにもBAILA BAILAを楽しんでいる皆さんを送り出してくだっているご家族にも楽しさをおすそわけする意味でこだわりの米俵や特選和牛、プレミアムな果物や無農薬野菜などが賞として贈られ、さまざまに輝く人たちをいろいろな方向から表彰している。

2017年9月18日(月・祝)、今年のバイラーズ(BAILA BAILA愛好者の呼称)の頂点を決める「バイラーズコンテスト2017全国大会」が、愛好者たちの聖地とも言えるDDD青山クロスシアター(東京都渋谷区)で開催された。当日はインターネットでリアルタイムに中継が配信され、会場に来ることのできなかった多くの人たちも全国大会出場者たちのパフォーマンスに注目した。

各地区大会より個人コンテスト部門は男女ファイナリスト(決勝進出者)各8名程度、チーム部門は3位内入賞チームと地区大会推薦枠に全国大会への出場権が与えられる。今年は男子コンテスト部門22名、女子コンテスト部門30名、チームコンテスト部門10チーム(111名)のべ162名が全国大会に出場した。

BAILA BAILAのインストラクターの皆さんによるパフォーマンスで華やかに幕が開いたバイラーズコンテスト2017全国大会。審査員はBAILA BAILAスーパーバイザーであり競技エアロビック女子個人でワールドチャンピオンに9回輝いた伊藤由里子さん、新体操で2度のオリンピック出場を果たした山田海蜂さん、ダンサー・モデル・ステージングディレクターとして活躍中のスヌーキーさん、BAILA BAILAを世に送り出したDDD総合プロデューサー廣瀬元彦さんの4名。地区大会3会場で審査員をした池田美佳さんは全国舞踊コンクールで1位を4回受賞したコンテンポラリーダンスの実力者。開会式入場行進のあとはすぐにチーム部門からスタート。注目すべきは前日の東京大会で初出場で2位となったBAILA BAILA初心者たちだけで構成された素人弁護士チーム「新宿ABOGADOS」が、昨年のチームチャンピオンである「プラガンテ」や、激戦の大阪大会から全国大会へとコマを進めてきた「MOV'in'dance」「みぼちんと火の鳥たち」「aromatico」にどう食い込んでいくか。実はBAILA BAILAは毎年「BAILA BAILAミュージカル」という舞台をインストラクターたちをキャストにして制作しているが、今年のBAILA BAILAミュージカルのストーリーは弁護士事務所の人たちがBAILA BAILAに目覚め、人生に生きがいやハリを見出していくというものだった。このストーリーを実践しようと立ち上がってくれた素人集団「新宿ABOGADOS」。東京大会では審査員たちの予想をはるかに超えたパフォーマンスで観客の気持ちもしっかりつかんでの優勝だっただけにこの日のパフォーマンスには注目が集まった。さすがに各地区大会を勝ち上がったチームだけにどのチームも見ごたえがあったが、2番目に出てきた「MOV'in'dance」は大阪大会出場時からはるかに違う意気込みと精度で庄巻の演技で第3位。「みぼちんと火の鳥たち」は最多人数の17名のチームが一糸乱れぬ迫力の演技をみせ第2位に。会場のボルテージが上がる中8番目に出てきた「aromatico」パッションに溢れ曲の持つイメージ通りのキレの良い演技が終了したときには会場中からおさまらないほどの大きな拍手が起こる。この後出てきた「新宿ABOGADOS」は、会場中からくる熱気に少し押されてしまったのか前日の東京大会よりは少し精度を欠いた演技。最終演技は前年度チャンピオンの「プラガンテ」でいつも女性って素敵だなと思わせてくれる「プラガンテ」の演技は健在だったが、新鮮な衝撃を観ているものに与えるほどではなかったのであろう。結果、優勝は情熱的で勢いのあった「aromatico」が勝ち取りました。

続いて個人部門。個人部門は男子コンテスト部門、女子コンテスト部門とそれぞれ部門に分かれ、ステージに一斉に上がりBAILA BAILA vol.19の全11曲を1コーラスずつ20分強踊ります。BAILA BAILAの楽曲はラテン系・ストリート系・パラード系・パワフルな元気系などバラエティに富み、全国大会ではそのすべての曲調で審査されるので様々な曲調に対しての表現力やテクニック、また照明を浴びながら20分強全力で踊る体力・スタミナも要求されます。男子22名、女子30名から最終のグランドファイナルに進めるのは約10名。満員の観客の目はステージ上で繰り広げられる全国出場者たちの熱いBAILA BAILAに釘付けになりました。普段BAILA BAILAはインストラクターたちが前でリードし、参加される方々はインストラクターの動きを見ながら一緒に踊ります。地区大会の決勝までは通常のレッスン同様インストラクターのリードがありますが、全国大会はインストラクターのリードがありません。見て動きを模倣するのではなく自分のダンスとしての表現になります。男子コンテスト部門はなんといってもパワフル。このエネルギーを放出できることが素晴らしいです。そして女子コンテスト部門は華やかで美しい。バイラーズコンテスト参加者はいわゆる普通の大人たちです。ダンスで生計を立てているわけではありません。余暇の時間に始めた趣味や活動とは思えないこのエネルギーの放出量には脱帽です。

普通の大人たちをここまで本気にのめり込ませるBAILA BAILAの凄さをこの個人コンテスト部門からも垣間見ることとなりました。そして、ここからさらに男子10名、女子11名が選考され、この日の最後を飾る個人部門グランドファイナルへと続きます。司会からグランドファイナル出場者の名前が呼ばれそのままグランドファイナルのステージへ。まずは男子コンテスト部門グランドファイナル。これまでのバイラーズコンテストでも優勝・入賞歴のある顔ぶれが揃い、誰が優勝してもおかしくない状況の中、BAILA BAILA vol.19の11曲に加え、レゲトンの激しいリズム系の曲「Espejismo del amor (vol.14)」とカーディオトレーニング系「Blazing Love (vol.3)」が追加された計13曲で、彼らにとっての今年のバイラーズコンテストのラストパフォーマンスが繰り広げられました。追加の2曲によりさらにスタミナが要求されるようなラストステージを制したのは、安定感のあった湯本精二さん(長野県在住)。第2位はつねに音楽性が感じられ1曲ずつを誠実に踊った印象のある宮原聖さん(東京都在住)。第3位はムラがなく常にポジティブなエネルギーではつらつと踊っていた河合史晴さん(大阪府在住)でした。男性グランドファイナル同様、女性グランドファイナルにも優勝・入賞歴のある顔ぶれが揃いました。BAILA BAILA vol.19の11曲に加え、女性部門は元祖哀愁系ナンバー「Amores (vol.1)」と大人のストリートパラード系で杏子の歌う「Irresponsible (vol.15)」が追加されての計13曲。追加の2曲にもこちらはさらに音楽を感じ表現することが求められたように思います。女性部門グランドファイナルはとにかく美しく、男性のエネルギーの出し方とは一味違いましたが、最後まで凛として踊り続けるためにもやはり体力面も相当重要になってくると感じました。第1位は常に誠実に踊り後半なるにつれて追い上げてきた藤江サエミさん(大阪府在住)。第2位はバイラーズコンテストスタート当初優勝経験がある方にもかかわらずグランドファイナル進出を新鮮に喜びをかみしめながら1曲1曲一寧に心を込めて踊った林千晶さん(神奈川県在住)。第3位にはvol.19の楽曲では抜群の安定力で優勝かと思わせた湯本真理さん(長野県在住)。湯本さんはご夫婦そろっての入賞となりました。BAILA BAILAはミュージカルなどでも常にテーマにしているのが「進化・挑戦」そしてほかの人との「交流・協調」です。実力者にとってもすでにある実力だけでなく、昨日の自分を超える」ところも大きく評価していきます。そういう意味では誰にとっても挑戦でき、可能性があり、またただからこそ誰も自分の実力の上にあぐらをかけないのがバイラーズコンテストであり、バイラバイラです。そんな大きなキラキラとしたエネルギーを放てるたくさんのバイラバイラ愛好者たちが、その周りの人たちにも元気を与え、ニッポンが元気になることをバイラバイラは期待しています。出場し、自分も本当はグランドファイナルのあの場所でBAILA BAILAを踊りたかったと思いながらステージを見続けた人たちが、入賞者たちの名前がコールされた時、自分のことのように本気で喜び、涙する。その笑顔の輝きは1位のクリスタルの盾に匹敵するほど美しいものだった。

BAILA BAILA トレーナーのオープニングパフォーマンス

大会を支えた全国各地の BAILA BAILA トレーナーの皆さん

青葉葵・abe・五十嵐美奈子・石河香・磯村尚子・ISY・今井 薫・遠藤かおり・大堀真武・岡本ゆう子・奥村高史・尾崎全子・川島麻里・岸田恵・木村宏美・櫻井由香・猿谷英子・霧田哲也・Junko・谷井 恵利香・鈎富美子・奈良夢・西口博子・西村裕子・馬場恵里奈・原美乃・藤岡真由・藤村恵理・星 小百合・松波美保・溝口幸穂・森さとみ・八木澤美佳・山本知子・横井純子・YOSHI・古田琴巳

結成から4ヶ月、DVDとグループパーソナルインストラクターに支えられ東京地区大会に初挑戦。技術を超えた本気のパフォーマンスで見事優勝!

東京新宿法律事務所
弁護士チーム大活躍!!

特別審査員も豪華!!

伊藤由里子(元エアロビック女子シングル世界チャンピオン9回)

出場される皆様の本気の気持ちを受け止めるだけで審査員には相当のエネルギーが必要とされるバイラーズコンテスト。元表現スポーツのプロ選手としてもいろいろなことを感じますが、コンテストに出るのであれば結果をどう受け止め次にどうつなげるかが一番大切だと思います。また自分の「つもり」と「実際」にみている人に届いているものは別な場合があります。相手に受け取りやすいかたちで自分のエネルギーを届けることも必要なのではないでしょうか?これはBAILA BAILAに限らず、普段ほかの人とのコミュニケーションのなかでも大切になってくることなのかと思います。これからもBAILA BAILAを通じてたくさんの素敵な経験をしてほしいです。

池田美佳(全国舞踊コンクール第1位4回)

大人になってあんなにも真剣にひとつの事に取り組むこと出来るだろうかと何度も胸を掻きぶられました。結果がすべてではなく、ここをスタート地点にして次の高みを目指していく事こそがこの大会に出場した本当の意義になると思いました。たくさんのドラマと感動をありがとうございました

山田海蜂(元新体操オリンピック日本代表)

バイラーズコンテスト、今年も熱かったです!その中で人一倍輝いているというコンテスト。心身ともに元気だからこそできる、そして元気になれると思います。目標に向かうことの大切さを学べ、私も気が引き締まりました。今を存分に過ごし、未来へと進んでいきたいです!

スヌーキー(ダンサー&モデル、ステージングディレクター)

トップから遠かった人が近づいてきたと感じる大会。リサーチレベルがアップし構成、クオリティーがアップしている。その中で、ダンサーの世界と皆さんが近づいてきていると思った。ニュージェネレーションたちがどんどん追掛けていて、ミュージカリティーのあるチームが目を惹いた。耳が育ってきていて、真剣にダンスと向き合っている。今回の大会は本当にすごかった

廣瀬元彦(DDD総合プロデューサー)

踊っている人を見て感動を覚える瞬間は理屈ではなく訪れます。技術やテクニックだけではない、全身全霊で挑戦している姿は年齢やダンス歴にも関係なく感動させられます、今回もそんな事を再認識させてくれるコンテストでした。来年は10周年、より多くの皆様が自分への挑戦場として参加し、そのポジティブなエネルギーが波及して行く事を願います。

[詳細は] www.ddd-dance.com 株式会社フラックス 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山Nプリック2F tel:03-5468-5062